

◎よく考え進んで学ぶ子
◎明るく心豊かな子
◎健康でたくましい子
校訓 自信 やればできる

久種湖



船泊小学校
学校だより
令和8年度
NO. 5
8月31日発行

『自主的』から『主体的』へ

校長 真鍋 奈美

暑い日が続いています。『涼しい』と言われていた宗谷地方はどこへやら、と言った感じの中、2学期が始まりました。始業式当日、早速プール授業が行われ、子どもたちはとても気持ちよさそうでした。

始業式に『楽しい学校』について子どもたちに考えてもらいました。自分にとって『楽しい学校』とはどんな学校なのか、どんな学校なら毎日行きたいな、と思えるのか。また、こんなことも聞きました。『楽しい学校』は、人に作ってもらうものなのか、それとも自分たちで作るものなのか。答えは人それぞれさまざまです。

今、世界は目まぐるしく変化しています。冒頭でも述べましたが、気温の上昇もその一つだと思います。世界規模の気温上昇やそれに伴う海産物、農産物の漁獲量、収穫量の変化、IT技術の進化など、追いつけないようなスピードで世の中が変わってきています。特にAIの進化は目覚ましく、今の子どもたちが大人になったときには今ある職業の多くがAIやロボットが行うことが可能になると言われています。そんな変化の激しい世の中で、子どもたちが生涯を通して自分らしく充実した人生を送るために求められている力が『主体的』に動く力です。これまで求められてきたのは『自主的』に動くことでした。

自主的) やることはすでに決められていて、それを誰かに言われずとも自らやる

主体的) 誰かに言われずとも、何をするか、なぜするかも含めて自分で考えて決めてやる

子どもたちにとって船泊小学校が『楽しい学校』になるにはどんなことができるのか、子どもたちに寄り添い、共に考えながら、子どもの主体性を育む学校づくりを目指してまいります。保護者、地域の皆様におかれましては、2学期もご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

優良芸術鑑賞

8月24日(月)にピスカ大ホールでサンドアーティストMASAさんとユニットKさんたちによるサンドアートとピアノ・バイオリンのコラボによるスペシャルライブショーが開催されました。素敵な音色に合わせて、砂で絵を制作していく素敵な時間を堪能することができました。また、各校から2名ずつサンドアートにチャレンジする取り組みもあり、子どもたちにとっていい経験になりました。



9月行事予定

- 1日(火) 後期委員会活動①
- 2日(水) PTA役員会③ プール授業③
- 4日(金) 観光大使委嘱状交付式
- 9日(水) 修学旅行(～11日)
- 15日(火) 後期児童会計画総会
- 18日(金) 管内教育研究大会礼文大会
- 21日(月) 敬老の日
- 22日(火) 国民の休日
- 23日(水) 秋分の日
- 25日(金) 参観日③(5時間授業)

避難訓練・一日防災学校

8月27日(木)避難訓練・一日防災学校を町役場防災課、利尻富士町防災監、稚内气象台の方々に、ご協力いただき、避難訓練と防災に関わる活動を中学校と一緒に行いました。船泊地区の地図を活用し、子どもたちで実際に地震が起こった時の対応方法や、やるべきこと等を話し合い防災について学び合い、有意義な時間を過ごしました。



後期児童会役員

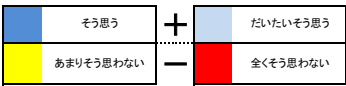
8月25日(火)後期児童会役員選挙が行われ、後期児童会役員が信任されました。

後期の活動は学芸会など大きな行事があります。児童会が中心となって、より元気で活気のある学校をつくりあげてください。よろしくお願いいたします。



令和8年度 学校評価アンケート結果（1学期）

《分 析 と 考 察》



①「授業を理解し、基礎学力が身についている」②「意欲的に学んでいる」③「自分で考えたり、進んで行動したりしている」④「友だちと協力したり助け合ったりして学習できる」⑥「宿題や家庭学習に取り組んでいる」⑦「元気に挨拶や返事をしている」⑨「友達との関係が良好だ」⑪「豊かな心や思いやりの心が育っている」⑭「最後まであきらめずに粘り強く取り組んでいる」の項目では、児童、保護者、教員の三者ともプラス評価（濃い青・薄い青）で80％前後の良い評価となっており、児童の頑張りや家庭・学校間の取組の成果が表れていると言えます。

⑩「先生にいろいろな話や相談をしている」⑫「早寝早起き等基本的な生活習慣が身に付いている」⑮「メディアについてルールを決め、守っている」の項目は三者とも十分ではないという認識が共通にされ、これからの生活指導などで学校と家庭で連携を取っていきながら解決できるよう努めていきます。

⑧「楽しく学校に通っている」の項目が「児童」と「保護者」「教員」中で認識に大きな違いがある結果となりました。児童の様子を注意深く見守りながら、学校生活を楽しく感じる児童を増やすことができるよう児童に寄り添いながら教員間、保護者との連携をこれまで以上に取っていきたいと思います。

保護者・教員の評価項目では、学校への厳しい評価もありました。学校としては、この結果をしっかりと受け止め、児童の気持ちに寄り添いながら、保護者と連携を取っていく必要があると感じています。

このアンケート結果は、今後の教育活動の改善に役立てます。今後も児童の頑張りや成長、その良さに目を向けて、一人一人をその子らしく伸ばせるように学校として支援していきますので、保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

お忙しい中、アンケートにご協力をいただきありがとうございました。

